

じょうそう未来創生プラン

基本構想

みんなでつくる しあわせのまち じょうそう
～あの人がいるから  このまちがすき～

常総市民憲章

わたくしたちは、常総市民であることに誇りと責任を感じ、住みよいまちを築くために大きな希望をもって、ここに市民憲章を定めます。



- 1 自然を愛し、美しいまちをつくりましょう。
- 1 お互いに助けあい、明るいまちをつくりましょう。
- 1 元気で働き、楽しいまちをつくりましょう。
- 1 きまりを守り、清らかなまちをつくりましょう。
- 1 文化を育て、豊かなまちをつくりましょう。



市の木 カシ

古代から、当地方に自然林として多く生えていた照葉樹であり、常緑で美しく力強い樹相である。

そして、防風、防火等のため生垣として植えられ、更に堅く粘りある材質は、農耕用具等の用材にも多く用いられ古くから生活に密着している。



市の花 サクラ

サクラといえば、日本の花の代表で、その花の美しさゆえに親しまれている。特に、当地方の台地に多く自生するヤマザクラは、古くから農耕のシンボルとして、農民の生活に深いつながりを持ち大切にされてきた。また、「八間堀のサクラ（ソメイヨシノ）」として市民から親しまれていたサクラが無くなり、その復活の声が多く、再び当市をサクラの名所にする願いを込めている。



市の鳥 ウグイス

ウグイスは、初春を伝えるきれいな鳴き声で、古くから詩歌にもよまれてきたなじみ深い鳥である。自然環境が良い当地方では、市街地でもその鳴き声がよく聞かれる。このように美しい環境と調和のとれた自然都市を目指す当市にふさわしい。

常総市のあゆみ

| 西暦 | 年号 | 月 | あゆみ |
|------|---------|------|---|
| 1954 | 昭和 29 年 | 7 月 | 水海道町，豊岡村，菅原村，大花羽村，三妻村，五箇村，大生村，坂手村が合併し，水海道市誕生 |
| | | 10 月 | 石下町，豊田村，玉村の一部，岡田村，飯沼村が合併し，石下町誕生 |
| 1955 | 昭和 30 年 | 3 月 | 旧真瀬村の一部（現・東町），旧十和村の一部（現・川又町）が水海道市に編入 |
| 1956 | 昭和 31 年 | 4 月 | 菅生村，内守谷村が水海道市に編入 |
| 1969 | 昭和 44 年 | 7 月 | 水海道市民憲章制定 |
| 1984 | 昭和 59 年 | 7 月 | 「市の木・花・鳥」を制定（木：カシ 花：サクラ 鳥：ウグイス） |
| 1994 | 平成 6 年 | 4 月 | 石下町民憲章制定 |
| 2003 | 平成 15 年 | 11 月 | 石下町町制施行 50 周年記念式典開催 |
| 2004 | 平成 16 年 | 11 月 | 水海道市市制施行 50 周年記念式典開催 |
| 2005 | 平成 17 年 | 1 月 | 水海道市・石下町合併協議会設立 |
| | | 3 月 | 常総市まちづくり計画（新市建設計画）策定 |
| | | 12 月 | 石下町閉町記念式典開催 |
| 2006 | 平成 18 年 | 1 月 | 水海道市，石下町が合併し，常総市誕生 |
| | | | 常総市民憲章制定 |
| | | 2 月 | 「市の木・花・鳥」を制定（木：カシ 花：サクラ 鳥：ウグイス） 常総市誕生記念式典開催 |
| 2008 | 平成 20 年 | 3 月 | 「常総市総合計画」を策定 |
| 2010 | 平成 22 年 | 8 月 | 石下新庁舎開庁 |
| 2011 | 平成 23 年 | 3 月 | 東日本大震災（常総市も被災） |
| 2013 | 平成 25 年 | 3 月 | 「常総市総合計画後期基本計画」を策定 |
| 2014 | 平成 26 年 | 11 月 | 本庁舎開庁，旧本庁舎を議会棟として使用開始 |
| 2015 | 平成 27 年 | 9 月 | 平成 27 年 9 月関東・東北豪雨により，鬼怒川が若宮戸で溢水，三坂町の堤防が決壊し市域の 3 分の 1 が浸水 |
| 2016 | 平成 28 年 | 3 月 | 「常総市復興計画」を策定 |
| | | 6 月 | 「常総市人口ビジョン 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定 |
| | | 9 月 | 復興祈念式典を開催 |
| 2017 | 平成 29 年 | 2 月 | 首都圏中央連絡自動車道常総 IC 供用開始 |

策定にあたって

さあ はじめよう!!
しあわせのまちづくり



常総市は、このたび、2027年度までの10年間を計画期間とした、新たな「総合計画（じょうそう未来創生プラン）」を策定しました。

現在、本市を取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化の進行による地域経済の縮小、公共施設をはじめとする社会インフラの老朽化など新たな局面を迎えています。また、東日本大震災や平成27年9月関東・東北豪雨による大規模な自然災害からの復興など、多くの課題が山積しています。

一方、平成29年2月に首都圏中央連絡自動車道常総インターチェンジが開業したことにより、広域交通網が飛躍的に向上し、多くの都市や地域との連携が容易となり、新たな交流と産業づくりの可能性が高まっています。

このたび策定しましたじょうそう未来創生プランでは、これらの時代の潮流や課題、市民のニーズ等を的確に捉えながら、本市の持続的な発展を目指し、「みんなでつくる しあわせのまち じょうそう ～あの人がいるから♡このまちがすき～」を将来都市像に定めています。この計画では、人口減少に歯止めをかけ、地域を元気に、市民が安全・安心に暮らしていけるまちを目指し、「じょうそう3「た」のまちづくり（^{たの}楽しい、^{ため}為になる、^{たよ}頼りにされるまちづくり）」を基本理念に掲げ、市民の皆さまと行政との協働により進めていきたいと考えています。

最後に、本計画の策定にあたり、貴重なご意見をいただきました市民の皆さまをはじめ、総合計画審議会委員ならびに関係各位に対しまして、厚くお礼申し上げます。

平成30年3月

常総市長

神尾岳志

目次

第1部 序論

| | |
|-------------------------|----|
| 第1章 じょうそう未来創生プラン策定にあたって | 11 |
| 1 計画策定の趣旨 | 11 |
| 2 計画の位置づけと性格 | 12 |
| 3 計画の名称と構成 | 13 |
| 4 計画期間 | 14 |
| 5 市関連計画との関係について | 15 |
| 6 計画の進行管理 | 18 |
| 第2章 計画策定の背景 | 20 |
| 1 時代潮流と本市のまちづくり | 20 |
| 2 本市の概況 | 23 |
| 3 人口と世帯 | 24 |
| 4 就業と産業 | 25 |
| 第3章 市民の意向 | 28 |
| 第4章 まちづくりの主要課題 | 39 |
| 1 市民参画の推進に向けて | 39 |
| 2 保健・医療・福祉の充実に向けて | 39 |
| 3 学校教育・生涯学習の推進に向けて | 40 |
| 4 生活環境の充実に向けて | 41 |
| 5 都市基盤の充実に向けて | 42 |
| 6 産業の振興に向けて | 43 |
| 7 行財政運営の効率化に向けて | 44 |

第2部 じょうそう未来創生プラン基本構想

| | |
|--------------------|----|
| 第1章 めざす将来目標 | 47 |
| 1 将来都市像 | 47 |
| 2 将来人口 | 49 |
| 3 土地利用構想 | 50 |
| 第2章 施策の大綱 | 56 |
| 施策大綱1 市民参画の推進 | 56 |
| 施策大綱2 保健・医療・福祉の充実 | 57 |
| 施策大綱3 学校教育・生涯学習の推進 | 58 |
| 施策大綱4 生活環境の充実 | 60 |
| 施策大綱5 都市基盤の充実 | 61 |
| 施策大綱6 産業の振興 | 63 |
| 施策大綱7 行財政運営の効率化 | 65 |

資 料

| | |
|------------------|----|
| 1 策定体制 | 69 |
| 2 策定経過 | 70 |
| 3 常総市総合計画審議会設置条例 | 71 |
| 4 常総市総合計画審議会委員名簿 | 73 |
| 5 諮問書・答申書 | 74 |
| 6 用語解説 | 76 |

